

安 全 報 告 書

— 平成 26 年度 —

1. 利用者はじめ地元の皆様へ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただき誠に有難うございます。また、平素は鉄道事業に対しましてご理解、ご協力を頂き、感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道(株) 社長 伊東 香織

2. 輸送の安全を確保するための基本的方針と安全目標

■ 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」に定め、社長以下社員全員に周知徹底しております。

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。

■ 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。平成 26 年度は「小さな見落とし、大きな危険、忘れるな、指差し確認」をスローガンに、社員一同「無事故達成」の目標に向けてとりくみました。

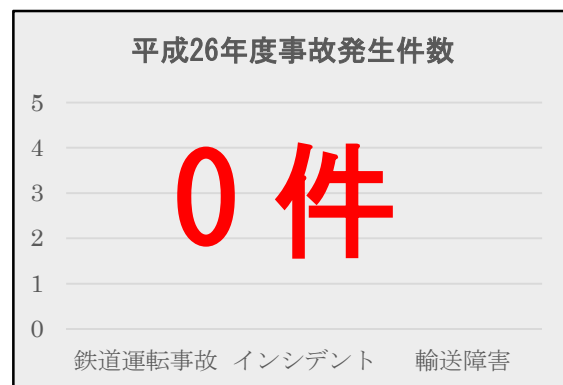
尚、平成 27 年度は「慣れと油断が危険を招く、指差し・声出し、忘れるな」をスローガンに掲げ「無事故達成」に向けて取り組む所存です。

3. 平成 26 年度の事故発生状況

■ 事故発生件数

平成 26 年度事故発生件数については下記のとおりです。

- | | |
|------------|-----|
| (1) 鉄道運転事故 | 0 件 |
| (2) インシデント | 0 件 |
| (3) 輸送障害 | 0 件 |



4. 安全確保の取組み

■ 走行中の列車の安全性向上

- ・ 信号及び踏切保安設備の検査・修繕工事を実施しました。
- ・ 線路保守工事で本線の木まくらぎからPC（コンクリート）まくらぎ化工事を実施しました。
- ・ 列車無線装置の定期検査を実施しました。
- ・ 車両の検査、修繕工事を実施しました。

■ 異常時対応訓練

- (1) 異常時（震度 4）を想定した、CTCセンターと乗務員及び本店間において、確実な連絡・指示方の訓練（9 月 25・26 日）を実施しました。

◎乗務員とCTCセンターとの確実な連絡



(CTC)



(乗務員)

(2) JR西日本との合同訓練（11月4日）を実施しました。

JR西日本旅客鉄道線との並行区間において、鉄道人身事故等が発生した場合、安全の確保を前提に人命を最優先とした事故対応の会社間連携を確認しました。



■ 安全推進会議

- ・ 運転事故及び労働災害事故防止について、自社、他社の事故例を参考に、グループ会社を含めて安全対策について検証し、事故防止に努めました。

◎グループ会社を含め真剣に討議（2ヶ月に1回）



■ 乗務員指導訓練の実施

- ・ 全乗務員に対して、教育・訓練を隔月実施し、乗務員の資質保持・向上に努めました。

◎乗務員の机上教育と実車訓練



信号と安全運転について



故障時の応急処置方

■ 輸送安全総点検の実施及びテロ対策の再点検（12月10日～1月10日）

- ・年末年始に各職場で点検を行い、基本動作・基本作業等「安全作業」の確認を行いました。
- ・各駅でゴミ箱等の点検を実施し不審物のチェックを行いました。
- ・主要駅において防犯カメラによる監視を実施しました。

■ 踏切事故防止キャンペーンの実施（11月1日～11月10日）

- ・児童・学生を含めて通行量の多い「村東道踏切」及び工場に大型トラックが出入りする「板敷踏切」にて、事故防止のチラシ等配布し、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。
- ・キャンペーン期間中に立て看板及び車内放送で事故防止の啓発活動を実施しました。



村東道踏切で児童に踏切横断
「左右を確認してね！」



板敷踏切でトラックの運転士へ
「一旦停止を！」

■ ヒヤリハットの推進と定着

- ・ヒヤリハット委員会を設置し、運転事故・労働災害事故の未然防止のため、全社員に定着できるよう推進しました。
- ・ヒヤリハット報告の報告内容に応じて、対処すべき事柄については速やかに対応しました。
その結果本年度は、運転事故、労働災害は0件で推移しました。

◎ヒヤリハット優秀賞授賞式の様子



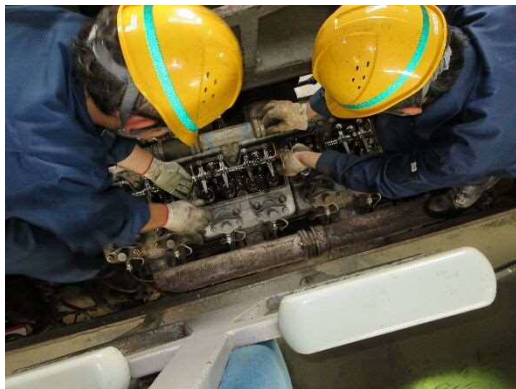
■ 安全のための車両及び施設の整備・点検の実施

- ・安全の維持、向上のため、線路保守・信号保安設備・踏切保安設備・通信設備・車両整備の投資や保守・点検・整備を確実に実施しました。

(1) 車両の整備、保守、点検市整備

- ・月検査 59両（気動車…49両、機関車…10両）
- ・重要部検査 3両（気動車）
- ・全般検査 1両（機関車）

◎「安全第一」入念に確実な月検査（左）と全般検査（右）



(2) 施設の保守、整備、点検

- ・PCまくらぎ交換工事（200本）



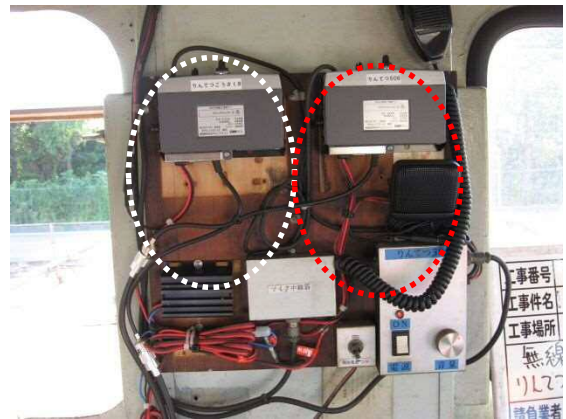
- ・踏切保安設備の工事



- ・ 列車無線及び入換無線装置の取換



施工前



施工後

■ 安全と旅客サービス向上の実施

- ・ 車いすで乗り降りの際の乗降板を幅広くしました。



■ 「こども 110 番」への取り組み

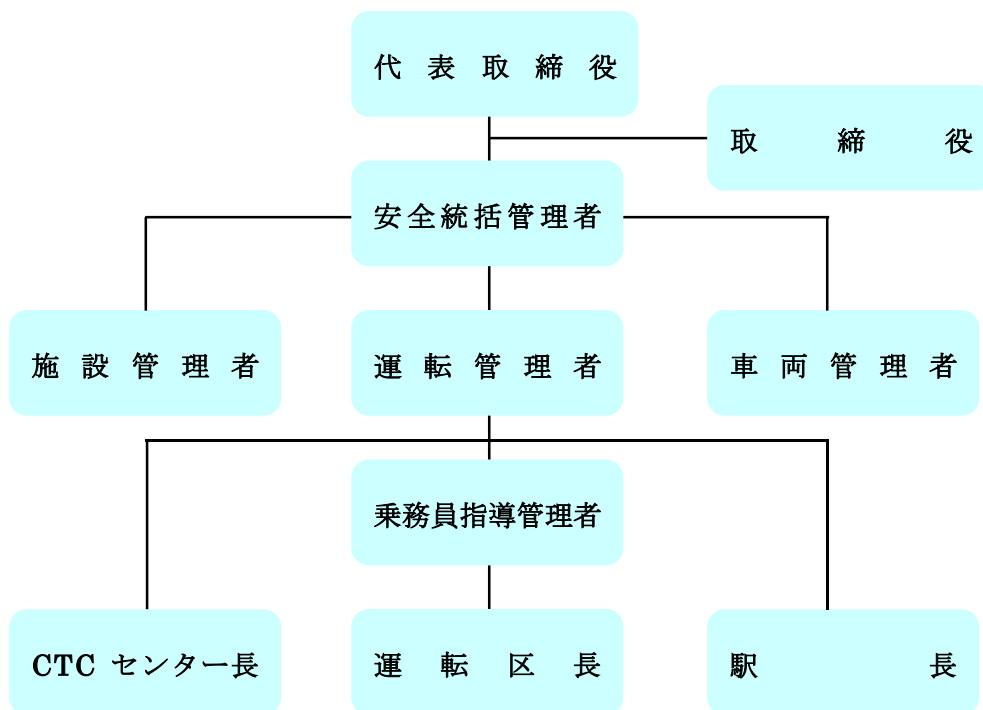
地域社会の人々に、より一層安心して鉄道施設をご利用いただくことを目的として、「こども 110 番の駅」の取り組みを実施しています。

これは、子どもが犯罪に巻き込まれそうになり、駅に助けを求めた際に保護し、子どもに代わって 110 番通報を行うなどの対応をとるものです。



「こども 110 番の駅」ステッカー

5. 安全管理体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	・ 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	・ 輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	・ 運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

安全報告書

— 平成 25 年度 —

1. 利用者はじめ地元の皆様へ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただき誠に有難うございます。また、平素は鉄道事業に対しましてご理解、ご協力を頂き、感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道(株) 社長 伊東 香織

2. 輸送の安全を確保するための基本的方針と安全目標

■基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」に定め、社長以下社員全員に周知徹底しております。

- ① 安全の確保は輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は安全の要件である。

■安全目標

当社では、経営トップを始めとし全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。

平成 25 年度は「身につけよう、正しい作業！怠るな、再確認！」をスローガンに、社員一同「無事故達成」の目標に向けて取り組みました。

尚、平成 26 年度は「小さな見落とし、大きな危険、忘れるな指差確認」をスローガンに掲げ「無事故達成」に向けて取り組む所存です。

3. 平成 25 年度の事故発生状況

- | | |
|------------|-------------|
| (1) 鉄道運転事故 | 0 件 |
| (2) インシデント | 0 件 |
| (3) 輸送障害 | 1 件（機関車不具合） |

※輸送障害は貨物列車 60 分以上の遅延

4. 安全確保の取組み

■ 走行中の列車の安全性向上

- ・ 信号及び踏切保安設備の検査・修繕工事を実施しました。
- ・ 線路保守工事及び旧国道 2 号線陸橋耐震性能評価調査を実施しました。
- ・ 列車無線装置の定期検査を実施しました。

■ 異常時対応訓練

- ・ 異常時（震度 4）を想定した、確実な連絡・指示方の訓練（10 月 3、4 日）を実施しました。

◎乗務員と CTC センターとの確実な連絡



【CTC センター】



【乗 務 員】

■ 安全推進会議

- ・ 運転事故及び労働災害事故防止について、自社・他社の事故例を参考にグループ会社を含めて 2 か月に 1 回安全対策について検証し、事故防止に努めました。

◎グループ会社を含め真剣に討議



2)



■乗務員指導訓練の実施

- ・全乗務員に対して、教育・訓練を隔月で実施し、乗務員の資質保持・向上に努めました。



【机上教育】信号と安全運転について



【実車訓練】故障時の応急処置について

■輸送安全総点検の実施及びテロ対策の再点検（12月10日～1月10日）

- ・年末年始に各職場で点検を行い、基本動作・基本作業等「安全作業」の確認を行いました。
- ・各駅でゴミ箱等の点検を実施し不審物のチェックを行いました。
- ・主要駅において防犯カメラによる監視を実施しました。

■踏切事故防止キャンペーンの実施（11月1日～11月10日）

- ・児童、学生を含めて通行量の多い「村東道踏切」及び工場に大型トラックが出入りする「板敷踏切」に於いて、事故防止のチラシ等配布し、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。
- ・キャンペーン期間中に立て看板及び車内放送で事故防止の啓発活動を実施しました。



村東道踏切で踏切を横断する児童へ
「左右確認して、気を付けて！」



板敷踏切でトラックの運転士へ
「一旦停止と左右確認で、ご安全に！」

■ ヒヤリハットの推進と定着

- ・ヒヤリハット委員会を設置し、運転事故・労働災害事故の未然防止のため、全社員に定着できるよう推進しました。

◎ヒヤリハット報告に対する取組み

- ・車両と接触の恐れがあるフェンスの修理



→



- ・凹凸のあるホームの舗装改修工事



→



等実施しました。

■ 安全のための車両及び施設の整備・点検の実施

安全の維持、向上のため、線路保守・信号保安設備・踏切保安設備・通信設備・車両整備の投資や保守・点検・整備を確実に実施しました。また、今期投入車両にも、E B装置・スピードリミター・無線機等の設置を行いました。

1. 車両の整備、保守、点検位置整備

- ・月検査 57 両（気動車—48 両・機関車—11 両）
- ・重要部検査 1 両（機関車）
- ・全般検査 1 両（気動車）



【「安全第一」入念に確実な全般検査】

2. 施設の保守、整備、点検

工 事 名	詳 細 (写真等)
・ P Cまくら木更換工事	港東線・ P Cまくら木化工事 (200 本) 
・ 並まくら木更換工事 (97 本)	
・ 軌間整正工事	東水島駅構内 2 番線軌道整正 (390m) 
・ 水島高架橋補修工事	
・ 電気転てつ機取替工事	倉敷貨物ターミナル (2 組) 
・ 信号トラフ取替工事	水島本線 (774m)
・ 電気踏切遮断機取替工事	三菱自工前踏切 (4 組)
・ 列車無線及び入替無線装置の定期検査	

■安全と旅客サービス向上の実施

旅客サービス向上と安全の為、西富井駅の改修工事を行いました。
階段の手すりをバリアフリー対応型にすることで、昇り降りの安全を確保しています。さらに、照明をLED化することにより、環境に配慮した取り組みの推進を行い、環境への負荷低減を図っています。

工 事 名	詳 細 （写真等）
・ 西富井駅の改修工事 階段手すり更新 (バリアフリー対応型)	
・ 西富井駅の改修工事 ホーム階段照明設備更新 (LED化)	

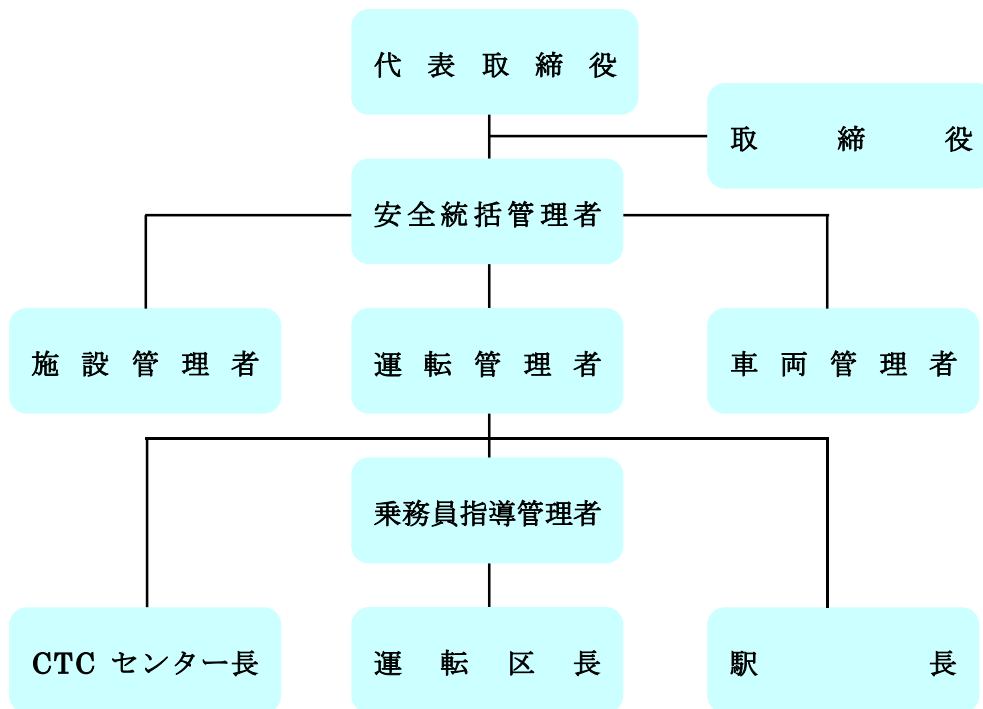
「こども 110 番」への取り組み

地域社会の人々に、より一層安心して鉄道施設をご利用いただくことを目的として、「こども 110 番の駅」の取り組みを実施しています。これは、子どもが犯罪に巻き込まれそうになり、駅に助けを求めた際に保護し、子どもに代わって 110 番通報を行うなどの対応をとるものです。



「こども 110 番の駅」ステッカー

5. 安全管理体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	・ 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	・ 輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	・ 運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

安 全 報 告 書

(平成 24 年度)

1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただき誠に有難うございます。
また、平素は鉄道事業に対してご理解、ご協力をいただき、感謝いたします。
当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。
この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道株式会社 社 長 伊東 香織

2. 輸送の安全を確保するための基本の方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」に定め、社長以下社員全員に周知徹底しております。

- ① 安全の確保は輸送の生命である。
- ② 規定の遵守は安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。

(2) 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。
平成 24 年度は「慣れた作業に予期せぬ危険、初心に戻って基本動作」をスローガンに、社員一同「無事故達成」の目標に向けて取り組みました。
尚、平成 25 年度は「身につけよう、正しい作業！怠るな、再確認！」をスローガンに掲げ、「無事故達成」に向けて取り組む所存です。

3. 平成 24 年度の事故発生状況

(1) 鉄道運転事故	0 件	
(2) インシデント	0 件	
(3) 輸送障害	1 件	(貨物列車の機関車故障)

※輸送障害は貨物列車 60 分以上

4. 安全確保の取組み

(1) 走行中の列車の安全性向上

- ・ 信号及び踏切保安設備の検査・修繕工事並びに線路保守工事等を施行しました。

(2) 異常時対応訓練

- ・ JR 西日本（倉敷駅）と合同で信号機故障を想定した訓練を実施しました。（2 月 15 日～16 日）
- ・ 異常時に於いて確実な連絡・指示方の訓練を実施しました。（10 月 4 日～5 日）



(3) 安全推進会議

- ・ 運転事故、労働災害事故等について、自社、他社の事故事例を参考に安全対策について検証し、事故防止に努めました。（2 ヶ月に 1 回）

(4) 乗務員指導訓練の実施

- ・ 全乗務員に対して、教育・訓練を隔月実施し乗務員の資質保持・向上等に努めました。



(5) 輸送安全総点検の実施及びテロ対策の再点検（12 月 10 日～1 月 10 日）

- ・ 年末年始に各職場で点検を行い基本動作・基本作業の確認を行いました。
- ・ 各駅で不審物のチェック及びゴミ箱等の点検を実施しました。
- ・ 主要駅において防犯カメラによる監視を実施しました。

(6) 踏切事故防止キャンペーンの実施（11 月 1 日～11 月 10 日）

- ・ 村東道踏切・板敷踏切に於いてチラシ等を配布して、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。(11月5日)
- ・ キャンペーン期間中に立て看板及び車内放送で事故防止の啓発活動を実施しました。

(7) ヒヤリ・ハットの定着

- ・ ヒヤリ・ハットボックスを各現場に設置し、運転事故・労働災害の未然防止のため、社員全員に定着できるように推進しました。
- ・ ヒヤリ・ハット報告に対する取り組みとして、東水島駅構内安全運転キャンペーンを実施しました。(9月2日～7日)



(8) 安全のための車両及び施設の整備・点検等の実施

- ・ 安全の維持・向上のため安全関連設備の投資や施設・車両の点検を実施しました。

①車両の保守・点検整備

- ・ 月検査 47両 (気動車 - 37両・機関車 - 10両)
- ・ 重要部検査 3両 (気動車 - 2両・機関車 - 1両)
- ・ 全般検査 1両 (気動車)

②施設の整備

- ・ 踏切保安設備の取替 (第二五軒屋)
- ・ 電気転てつ機取替 (倉敷貨物ターミナル駅 2台)
- ・ ATS (地上子) の取替 (水島駅・25組)
- ・ 信号リレー取替 (倉敷貨物ターミナル駅)
- ・ レール更換 (水島本線 997m)
- ・ 分岐器更換 (倉敷市駅・弥生駅 1組・水島駅 2組)
- ・ 線路保守 (総つき固め) 工事 (1,563m)

③その他設備

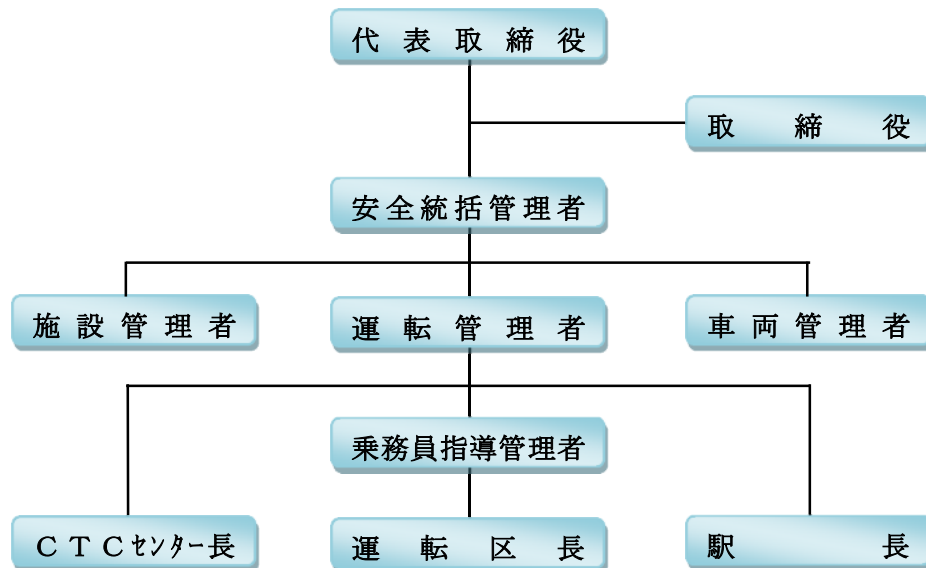
- ・ 東水島駅のコンテナホーム修繕工事を実施しました。



(9) 安全と旅客サービス向上の実施

- ・ 西富井駅に防犯カメラを設置しました。

5. 安全管理体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	・ 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	・ 輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	・ 運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	・ 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

安 全 報 告 書 (平成 23 年度)

1.利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただき誠に有難うございます。

また、平素は鉄道事業に対してご理解、ご協力をいただき、感謝いたします。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道(株) 社 長 伊東 香織

2.輸送の安全を確保するための基本的方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」に定め、社長以下社員全員に周知徹底しております。

- ① 安全の確保は輸送の生命である。
- ② 規定の遵守は安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。

(2) 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。

平成 23 年度は「冷静な異常時対応と基本動作の励行」をスローガンに、社員一同「無事故達成」の目標に向けて取り組みました。

尚、平成 24 年度は「慣れた作業に予期せぬ危険、初心に戻って基本動作」をスローガンに掲げ、「無事故達成」に向けて取り組む所存です。

3.平成 23 年度の事故発生状況

- | | | |
|------------|-----|--------------|
| (1) 鉄道運転事故 | 0 件 | |
| (2) インシデント | 0 件 | |
| (3) 輸送障害 | 2 件 | (貨物列車の機関車故障) |

※輸送障害は貨物列車 60 分以上の遅延

4.安全確保の取組み

(1) 走行中の列車の安全性向上

- ・信号及び踏切保安設備の検査・修繕工事並びに線路保守工事等を施行しました。

(2) 異常時対応訓練

- ・JR 西日本（倉敷駅）と合同で信号機故障を想定した訓練（3 月 30～31 日）を実施しました。
- ・異常時に於いて確実な連絡・指示方の訓練（9 月 1・2 日）を実施しました。

(3) 安全推進会議

- ・運転事故、労働災害事故等について、自社、他社の事故事例を参考に安全対策について検証し、事故防止に努めました。（2 ヶ月に 1 回）

(4) 乗務員指導訓練の実施

- ・全乗務員に対して、教育・訓練を隔月実施し乗務員の資質保持・向上等に努めました。

(5) 輸送安全総点検の実施及びテロ対策の再点検（12 月 10 日～1 月 10 日）

- ・年末年始に各職場で点検を行い基本動作・基本作業の確認を行いました。
- ・各駅で不審物のチェック及びゴミ箱等の点検を実施しました。
- ・主要駅において防犯テレビカメラによる監視を実施しました。

(6) 踏切事故防止キャンペーンの実施（11 月 1 日～11 月 10 日）

- ・村東道踏切・板敷踏切に於いてチラシ等を配布して、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。（11 月 4 日）
- ・キャンペーン期間中に立て看板及び車内放送で事故防止の啓発活動を実施しました。

(7) 安全のための車両及び施設の整備・点検等の実施

- ・安全の維持・向上のため安全関連設備の投資や施設・車両の点検を実施しました。

①車両の保守・点検整備

- ・月検査 48 両（気動車—35 両・機関車—13 両）
- ・重要部検査 1 両（気動車）
- ・全般検査 3 両（気動車）

②施設の整備

- ・踏切保安設備の取替（五軒屋・八田井・福井・天理教前・第二五軒屋）
- ・電気転てつ機の取替（倉敷貨物ターミナル駅 2 台、弥生駅 1 台）
- ・ATS（地上子）の取替（西富井駅・17 組）
- ・信号リレー取替え（倉敷貨物ターミナル駅）
- ・まくら木交換(PC 化工事＝水島本線—312 本及び並まくら木交換—247 本)
- ・レール交換（港東線・・・300m）、分岐器交換（3 組）

- ・ 線路保守（総つき固め）工事（560m）

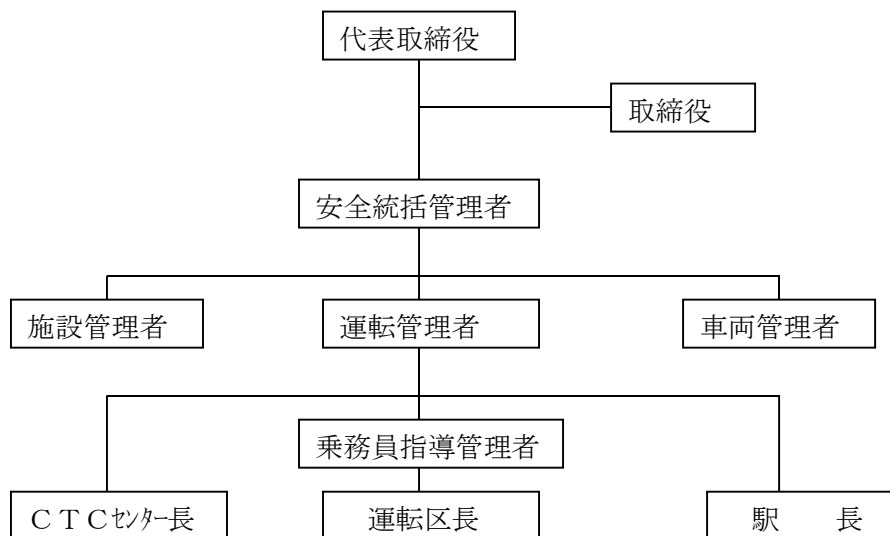
③その他設備

- ・ 東水島駅のコンテナホーム修繕工事を実施しました。

（８）安全と旅客サービス向上の実施

- ・ 水島駅にパークアンドライドを増設し利用者の利便性の向上を図りました。
- ・ 倉敷市駅に自動放送設備を新設しました。
- ・ 西富井駅ホームのライン（白線）を改修しました。

５・安全管理体制図及び役割分担



役 職

代表取締役

役 割

- ・ 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う

安全統括管理者

- ・ 輸送の安全確保に関する業務を統括管理する

運転管理者

- ・ 安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する

乗務員指導管理者

- ・ 運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する

施設管理者

- ・ 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する

車両管理者

- ・ 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括

安 全 報 告 書 (平成 22 年度)

1.利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただき誠に有難うございます。

また、平素は鉄道事業に対してご理解をいただき、感謝いたします。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道(株) 社 長 伊東 香織

2.輸送の安全を確保するための基本的方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」に定め、社長以下社員全員に周知徹底しております。

- ① 安全の確保は輸送の生命である。
- ② 規定の遵守は安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。

(2) 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。

平成 23 年度は「冷静な異常時対応と基本動作の励行」をスローガンに、社員一同「無事故達成」の目標に向けて取り組む所存です。

3.平成 22 年度の事故発生状況

- | | | |
|------------|-----|-----------|
| (1) 鉄道運転事故 | 2 件 | |
| (2) インシデント | 0 件 | |
| (3) 輸送障害 | 1 件 | (自殺未遂で軽傷) |

※輸送障害は列車 30 分以上の遅延

4.安全確保の取組み

(1) 走行中の列車の安全性向上

- ・信号及び踏切保安設備の検査・修繕工事並びに線路保守工事等を施行しました。

(2) 異常時対応訓練

- ・JR 西日本(倉敷駅)と合同で信号機故障を想定した訓練(3月5～6日)を実施しました。
- ・異常時に於いて確実な連絡・指示方の訓練(9月14・15・21・22日)を実施しました。

(3) 安全推進会議

- ・運転事故、労働災害事故等について、自社、他社の事故事例を参考に安全対策について検証し、事故防止に努めました。(2ヶ月に1回)

(4) 乗務員指導訓練の実施

- ・全乗務員に対して、教育・訓練を隔月実施し乗務員の資質保持・向上等に努めました。

(5) 輸送安全総点検の実施及びテロ対策の再点検(12月10日～1月10日)

- ・年末年始に各職場で点検を行い基本動作・基本作業の確認を行いました。
- ・各駅で不審物のチェック及びゴミ箱等の点検を実施しました。
- ・主要駅において防犯テレビカメラによる監視を実施しました。

(6) 踏切事故防止キャンペーンの実施(11月1日～11月11日)

- ・村東道踏切・板敷踏切に於いてチラシ等を配布して、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。(11月2日)
- ・キャンペーン期間中に立て看板及び車内放送で事故防止の啓発活動を実施しました。

(7) 安全のための車両及び施設の整備・点検等の実施

- ・安全の維持・向上のため安全関連設備の投資や施設・車両の点検を実施しました。

①車両の保守・点検整備

- ・月検査 43両(気動車—36両・機関車—7両)
- ・全般検査 4両(気動車—3両・機関車—1両)

②施設の整備

- ・踏切保安設備の取替(自工前・第二五軒屋・八田井・臨鉄第一・天理教前)
- ・電気転てつ器の取替(倉敷貨物ターミナル駅 2台)
- ・ATS(地上子)の取替(倉敷貨物ターミナル駅・4組)
- ・信号リレー取替え(倉敷貨物ターミナル駅)
- ・まくら木交換(PC化工事=水島本線—406本及び並まくら木交換—105本)
- ・分岐まくら木更換工事(59本)

- ・ 線路保守（総つき固め）工事（788m）、分岐器つき固め（4組）

③その他設備

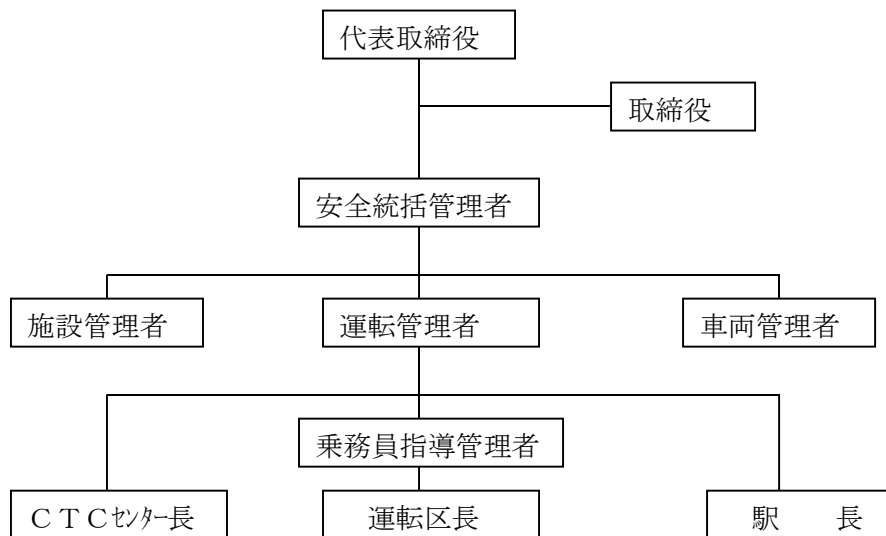
- ・ 東水島駅のコンテナホーム修繕工事を実施しました。

（８）安全と旅客サービス向上の実施

- ・ 球場前駅に駐輪場を新設し利用者の利便向上を図りました。

※ 31 台分新設しました

５・安全管理体制図及び役割分担



役 職	役 割
代表取締役	・ 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	・ 輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運転管理者	・ 安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	・ 運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施設管理者	・ 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車両管理者	・ 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

